

しみんけんきゅうニュース

発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530

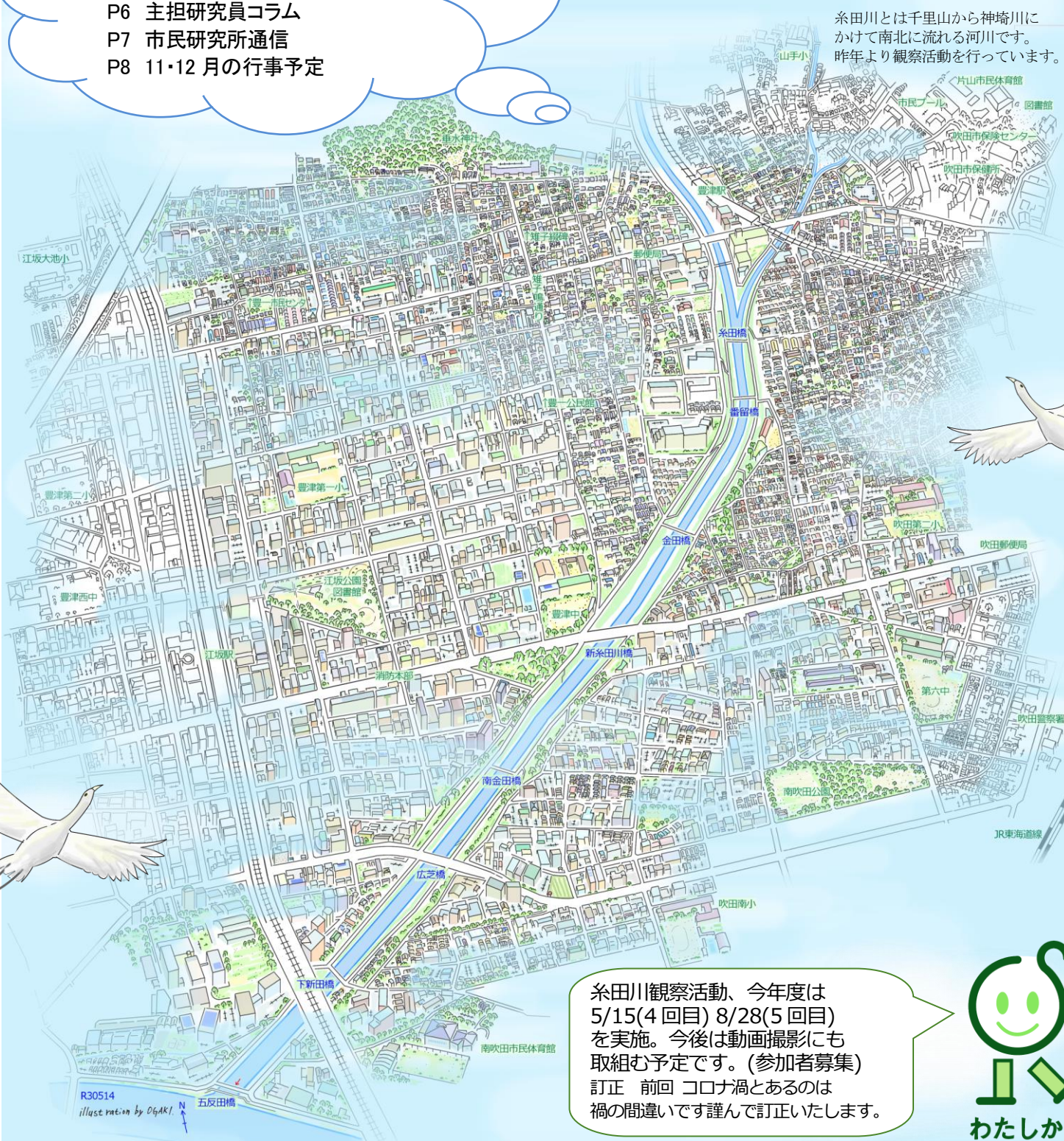
〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3
<http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

【目次】

- P2 TOPICS
- P3 PT(プロジェクトチーム)活動報告
- P4-5 特集 身近な環境を調べようPT
- P6 主担研究員コラム
- P7 市民研究所通信
- P8 11・12月の行事予定

糸田川観察活動継続実施中

糸田川とは千里山から神崎川にかけて南北に流れる河川です。昨年より観察活動を行っています。



糸田川観察活動、今年度は5/15(4回目) 8/28(5回目)を実施。今後は動画撮影にも取り組む予定です。(参加者募集)
訂正 前回 コロナ渦とあるのは 禍の間違ひです謹んで訂正いたします。



わたしから

TOPIC

市民研究員研修講座に参加して

日時：2021.8.25（水）

講師：金子泰純氏（千里リサイクルプラザ市民研究所 主担研究員）

演題：「ごみとつきあう」

今年から新しく主担研究員になられた金子先生の講座に参加して来ました。

テーマは“ごみとつきあう”で、そもそもごみって何？という切り口からごみを汚いものや要らないものから、身近に考える為に3R（リデュース・リユース・リサイクル）からSDGsの目標12の“つくる責任・つかう責任”に繋げていく考え方に共鳴しました。3Rにリニューアルを加える考え方も私達のPTの活動で共有していける様に感じました。

（市民研究員：三枝 茂）



環境問題講演会が開催されました

日時：2021.9.19（日）

講師：福田かずみ氏（食品ロス削減アドバイザー、WEBサイト美人冷蔵庫 LIFE）開設

演題：「SDGsと食品ロスを出さない冷蔵庫収納」

印象に残ったいくつかを紹介します。

1. SDGsと食品ロス：目標12「つくる責任」「つかう責任」に「すてる責任」を加える。
2. 冷蔵庫の収納率：冷蔵室＝7割、冷凍室＝10割（隙間を水を入れた保存容器で埋める）
3. 買い物の仕方：冷蔵庫の中を思い出しながらする。「何が」「どこに」「どれだけ」
4. 収納の3つのポイント
 - ・食品を2分類（臨時品、定番品）・定番品の位置を決める・ゆとりのスペースを確保
 - ・使いかけ野菜は専用容器に収納、またはゆでて冷凍庫保存して使い切る。
5. ロスを出さない野菜の切り方
 - ・ピーマン（縦に切ってへたをつまみ取る）、肉詰めピーマンはわた、種ごと調理
 - わた：血液サラサラ成分、種：ナトリウム排出するカリウム成分あり
 - ・緑茶：茶殻に栄養分豊富、鶏のから揚げにまぶして「鶏の茶殻揚げ」
6. 庫内の写真を撮って見える化を図る（宿題）：家族と一緒に観察する。

質問も多く出され、受講者の関心の高さがうかがえました。（市民研究員：茶園征也）



PT（プロジェクトチーム）活動報告

市民とお店をエコでつなぐ PT

くるくる環境スクール生にふるしき講座（ウエストポーチ、本包み、おしやれバッグなど）を行いました。皆さん熱心に取り組まれていました。

「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」で有名な亀岡市に視察訪問を予定しています。そのため、プラスチックごみについて、質問事項をまとめています。

身近な環境を調べよう PT

9月4日に定例会をしました。8月の糸田川フィールドワークについて、マップ作りのための資料整理、11月の市民研究講座について、質問事項の検討をしました。また動画作成についても話し合いを進めています。

エコ体験 PT

9月30日に定例会を行いました。

新人研修として「エコゲーム」、のデモンストレーションを行い、内容について話し合いしました。

10月3日にはくるくる環境スクールの受講生の皆さんに紙すき体験をしてもらい、紙パックのリサイクルを実感してもらいました。

手作りおもちゃと環境 PT

9月5日、10月3日に定例会を行いました。

9月のくるくるワークショップでは、使用済みの紙パックを使ったサイコロキューブを、10月のくるくるワークショップではマスカレードマスクを子ども達と一緒に作りました。

SDGs 啓発プログラム作成 PT

9月4日に「くるくるつながり広場」としてSDGs 啓発の動画コンテンツと、小学校で予定していた授業の内容の紹介をしました。コロナ禍で授業が中止になったのがとても残念です。

10月24日には、環境スクールでチームの紹介をします。

吹田ごみゼロシステム研究 PT

9月22日に定例会を実施しました。

「吹田ごみペディア」について、各メンバーの良い点・見習いたい点をコメントにして伝え、メンバー全員で情報を共有していきます。

また、各テーマの進捗状況を報告しました。先進的な自治体の取り組み状況を把握して、どのように活用していくかについて協議しました。

身近な環境を調べようプロジェクトチーム

市民研究員 西村 聡

糸田川流域の環境を調べきれいな川に、「ごみを少なく」を目標に調査活動を進めています。

今年度第1回は、2021年5月15日(土) 新しいメンバー2名とアドバイザーとして神崎様を迎えて、糸田川の4か所の橋で「気温・水温・透視度・PH・COD」の5項目の調査を行いました。

1. 全体に水の流れは穏やかで川底が見えるくらいに住んでいた。水量は少ない。
2. 川の中の生き物及び虫や鳥など多く見られた。
(コイ・カメ・ウシカエル・ヘビ・シオカラトンボ・ハクセキレイ・カルガモなど)
3. 部分的に川の法面の草刈りがされていた。
4. 樹木・植物は広範囲に繁殖している。
(オオキンケイギク・セイタカアワダチソウ・ランタナ・オランダガラシなど)
5. ごみ類については少なくなってきているように見える。
(ビニール袋が一番多く、空き缶・ペットボトル等)

第2回は、8月28日(土)この日は、吹田市民環境会議顧問の武田義明先生を迎えて糸田川に繁殖している樹木、草などについて説明を受けながら前回同様に4か所5項目の調査も実施しました。

1. 水量は少ない、透視度は比較的良好。
2. 川床は所々緑色(藻)で落ち込みのところに泡が見られた。
3. ごみは、上・中流では少なかったが下流(神崎川との合流付近)で多くあった。
4. 外来種のヤナギバルレイラソウの花が一面に見られました。
(5月には見られなかった植物が多種見受けられた。(くずの弦が繁殖))
5. 川の流れは穏やかで橋の上から子魚が泳いでいるのが見られる。

その他(カメ・シオカラトンボ・ギンヤンマ・ハクセキレイ・カワセミ・ヌートリアなど)

今回の調査の整理・まとめから、次回の調査の課題が見つかりました。

第3回 市民研究員研修講座に向けて

テーマ「吹田の外来生物について」

講師 武田 義明 氏 (神戸大学名誉教授)

場所 くるくるプラザ 講義室2

日時 11月20日(土) 13時30分から

糸田川のフィールドワークをする中で気がついたのは、外来生物がよく見られることです。ヌートリアやミシシippアカミミガメ等の動物から、セイヨウアサガオ、オオキンケイギク、ヤナギバルレイラソウ等の植物まで、たいへん目につきます。なぜ外来生物が多いのか、そして環境問題としてどうとらえればいいのか等を講師の先生からお聞きしたいと思っています。(事務局)

糸田川観察マップ

2021.5.15.土曜 9時30分~11時 天気晴れ 第4回目
 (公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 身近な環境を調べようPT

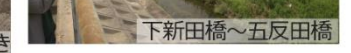
- 糸田橋~新糸田橋
- ・水は澄んでいる。
 - ・においは、あまりない。
 - ・川の中の生きもの
 コイ、カメ、ヘビ、ウシガエル
 - ・虫や鳥
 ハクセキレイ、ハシボソガラス、
 モンシロチョウ、シオカラトンボ
 - ・ごみ
 ペットボトル 2
 カン 7
 ビニール袋 9
 トロ箱 靴 トレイ
 - ・植物
 マルバシヤリンバイ、オオキンケイギク、
 ランタナ、セイヨウカラシナ、ハルジオン、
 ヒメジュオン、ノイチゴ



- 新糸田橋~広芝橋
- ・水は澄んでいる。
 - ・においは、あまりない。
 - ・川の中の生きもの
 コイ、小魚、カメ、
 ウシガエル
 - ・虫や鳥
 ハクセキレイ、ドバト、
 カルガモ、アオサギ、
 モンシロチョウ、
 シオカラトンボ
 - ・ごみ
 ペットボトル 3
 カン 3
 ビニール袋 13
 - ・植物
 法面の草刈りがされている。
 オオキンケイギク、ランタナ、
 オランダガラシ



R030219画像+0226+0303
 illustration by DGAKI.



- 広芝橋~五反田橋
- ・水は澄んでいる。
 - ・においは、あまりない。
 - ・川の中の生きもの
 小魚、アメンボ、ウシガエル
 - ・虫や鳥
 ドバト、スズメ、アオサギ、モンシロチョウ
 - ・ごみ
 ペットボトル 5
 カン 6
 ビニール袋 多数
 - ・植物
 オオキンケイギク、ランタナ、オランダガラシ、
 セイタカアワダチソウ、ススキ



	糸田橋	金田橋	南金田橋	下新田橋
気温	28.0	29.5	30.0	32.5
水温	27.0	25.5	30.0	27.0
透視度	54	61	57	62.5
pH	9	9	8	8
COD	10	7	8	8

初心者でもできる動画制作

カメラを回す前の仕事が7割、撮影1割、編集2割

主担研究員 黒田 勇

環境問題への様々な取り組みにおいても、デジタル技術の発展やSNSの普及により、魅力的な動画の作成と活用が不可欠な時代となりました。

今回は、動画作成の初心者の人に、まず、必要な準備や作成時のポイントを簡単に紹介します。良い動画を作成するためには十分な事前準備が必要ですが、機材やソフトの理解よりもまずは動画の「文法」の理解が一番です。

動画の「文法」とは

写真や動画にも、文章と同じような決まり、「文法」があります。まず、動画は、現実の単なる鏡ではなく、一つの「作品」であることを理解しましょう。カメラのレンズの向こうにあるものがそのまま「写る」わけではありません。一つ一つの「写る」ものに作者の意味が込められています。

次に、動画のレンズは作者の目ではありません。自分の目で追うものにカメラを向けても、それがそのまま動画という『作品』にはなりません。例えば、自分の目の動きに合わせてカメラを動かしても、それを見せられた他の人は「めまい」や「悪酔い」を起こしてしまいます。

さらに、映像だけでなく、音声やテロップ、音楽の効果も含めて「動画」は意味を持ちます。

撮影機材と編集ツール

撮影用のカメラを準備します。オートフォーカス、手ブレ防止機能など、初心者でも簡単に映像が撮れる機材を用意します。スマートフォンのアプリにも動画作成・編集に便利なものが増え、手軽に作成ができます。

動画制作の基本的な流れ

まず、動画の目的・構成を明確にします。「何のための動画なのか」を改めて明確にしておきましょう。「グループの記録にする」「活動の認知度を高めたい」など、目的によって最適な動画の構成は異なります。

次に、伝えたい内容を細かく書き出し、構成を練る作業を進めます。動画の大まかな流れを組み立てます。

目的に合わせて脚本を作る

上記の構成をもとに、詳細な脚本(シナリオ)を

作ります。全体の再生時間や流れ(時系列・シーケンス)など、細部まで定めます。全体の再生時間は全編で2分~5分程度に収め、その時間内に収まるように流れを作ります。できれば、それぞれに「絵コンテ」といって、どんな「画面」「シーン」なのかを簡単な絵で書いていきます。

動画の撮影

動画を撮影する際の最も重要なポイントです。カメラ、スマホは両手でしっかり持ちます。カメラを動かさない、これが第一に重要なテクニックです。カメラを長時間にわたって構えるのが難しい場合は、三脚など、固定用の機材を活用しましょう。

次に、カメラを動かしたいときには、できるだけゆっくりと動かします。そして、スイッチを切る前は必ず静止します。カメラは静止して、対象が動くので「動画」だということです。

さらに、どのシーンも長めに取ります。長い映像は簡単にカットできますが、短い映像を長くすることはできません。そして、シーンの前後は余白をもたせることも忘れずに。「会話のシーンで、最初の音声途切れてしまった」とのミスはよくあります。常に前後に余裕をもたせ、長めに撮影しましょう。

編集の基本

脚本の流れに従って、動画を編集します。視聴する人の立場に立って編集します。初めて見る人が関心を示すか、理解できるかを常に意識しましょう。そのためには、「6W1H」を意識する必要があります。「いつ・どこで・だれが・なにを・なぜ・だれに・どのように」の7つのポイントです。

編集ソフト・アプリの使い方

これについては、スマホの場合、i-phone系、アンドロイド系で全く異なりますから、実際に動かしながら慣れるしかありません。慣れるまでは私が実地でアドバイスをしますし、発表の迫った動画は私や学生が編集を手伝うこともします。

しかし、何よりも、編集上達の王道は、試行錯誤して「慣れる」こと、これに尽きます。

市民研究所通信

研究報告書の冒頭あいさつ文から見てくると

研究報告書の冒頭あいさつ文に書かれている歴代の所長や主担研究員の方々の文章には、非常に興味深い内容が多くあります。1年間の市民研究所の活動内容の総括だけでなく、当時の社会情勢を踏まえた課題や方向性が述べられています。

その一部を紹介したいと思います。

〈冒頭あいさつ文から〉

- ・たとえボランティアであっても無責任であってはいけない（3巻）
- ・研究員の活動が「指示待ち」から「自発的」へ（4巻）
- ・「循環型社会」実現のための正念場（5巻）
- ・失敗研究を恐れるな（7巻）
- ・虫の目の市民研究（8巻）
- ・環境論へのベースライン（10巻）
- ・唯一の市民が活動する研究所（12巻）
- ・研究会方式からプロジェクト方式（13巻）
- ・富士山のごみ問題（14巻）
- ・3種分別→5種分別（15巻）
- ・「エコ」と「エゴ」（17巻）
- ・市民研究員の存在意義（18巻）
- ・共有できる海図を作ろう（21巻）
- ・消費者と事業者の「エコ接点」をもっと増やそう（23巻）
- ・市民が知りたい情報は何なのだろうか（24巻）
- ・市民感覚とのバランスはとれているのか（26巻）

末石富太郎初代研究所長は120名を超える市民研究員に対して、第5巻で「循環型社会」実現のための正念場としてとらえ、第7巻で「失敗研究を恐

れるな」第8巻で「虫の目の市民研究」など、叱咤激励と当時のごみ問題に対する方向性について述べておられました。

13巻の三輪信哉主担研究員のあいさつ文からは、研究会方式からプロジェクト方式に変え、「染色講座活動」「環境にいいお店を作り隊」「吹田のイベントのごみを減らそう」「古紙回収実態調査」「研究所を元気にする」「手作りおもちゃと環境学習」「エコ体験」など、これまでの研究テーマを大きく変更されたことについて述べられていました。特に「研究所を元気にする」プロジェクトチームが立ち上がったことに注目したいと思います。


また、土屋正春市民研究所所長の24巻以降のあいさつ文からは、環境問題への関心が低下していることに対して、どのようにプロジェクトチームが改善策を打ち出していけるかが、大きな課題であると述べられていました。「市民が知りたい情報は何なのだろうか」「市民感覚とのバランスはとれているのか」など、市民目線からの活動の重要性を述べられていました。

現在では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、様々な会議やイベントが中止・延期となりました。これまでの市民研究員の活動を見直し、新たなスタイルを構築しなければなりません。不易と流行の精神を大切にしながら、市民研究所のさらなる進化をめざして、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思います。

（事務局）



研究所 11 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	月	休館日		
2	火			
3	水	休館日		文化の日
4	木			
5	金	定例会	10:30 ブラザ	市民とお店をエコでつなぐPT
6	土	第8回代表者会議	13:15 ブラザ	主担・代表者・事務局
7	日	定例会	13:00 ブラザ	手作りおもちゃと環境PT
8	月	休館日		
9	火	11/6 SDGs啓発プログラム作成PT、身近な環境を調べようPTの定例会もあります。		
10	水			
11	木			
12	金			
13	土	キッズ環境スクール		閉校式
14	日			
15	月	休館日		
16	火			
17	水			
18	木			
19	金			
20	土	フィールドワーク／市民研究員研修講座③	9:00糸田川／13:30 ブラザ	身近な環境を調べようPT／市民研究員
21	日	くるくるワークショップ	10:00 ブラザ	●
22	月	休館日		
23	火	休館日		勤労感謝の日
24	水			
25	木	定例会	10:00 ブラザ	エコ体験PT
26	金			
27	土			
28	日			
29	月	休館日		
30	火			

研究所 12 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	水			
2	木			
3	金			
4	土	第9回代表者会議・実践発表会(フォーラム)	10:00 ブラザ	主担・市民研究員・事務局
5	日	定例会	13:00 ブラザ	手作りおもちゃと環境PT
6	月	休館日		
7	火			
8	水			
9	木			
10	金			
11	土	環境スクール⑧	10:00 ブラザ	閉校式
12	日			
13	月	休館日		
14	火			
15	水	ニュース原稿締切		
16	木			
17	金	第4回研究運営委員会	14:00 ブラザ	主担・執行役員・事務局
18	土			
19	日	くるくるワークショップ	10:00 ブラザ	●
20	月	休館日		
21	火			
22	水			
23	木			
24	金			
25	土	ニュース発送準備	ブラザ	エコ体験PT
26	日			
27	月	休館日		
28	火			
29	水	休館日		
30	木	休館日		
31	金	休館日		

は、資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。